

おうら青年学級が文部科学大臣表彰を受賞



おうら青年学級の学級生9人が全員そろって記念写真。この日はクリスマスパーティーをして楽しみました(12月15日)
 福永敏男さん 長谷川達哉さん 折原玲子さん 金子哲也さん 池上祐樹さん
 小菅香奈枝さん 稲村真由美さん 本城谷紀子さん 内山幸恵さん

障がい者の生涯学習支援活動で県内初!

障がい者の生涯学習支援で優れた活動をしているとして、中央公民館の「おうら青年学級」が文部科学大臣表彰を受賞しました。これは、群馬県内の団体として初めての受賞です。邑楽の社会教育活動がまた一つ大きな栄誉を手にしました。

青年学級は、知的障がい者の余暇活動の充実や自立を目的に平成16年度に始まりました。現在は20、50代の男女9人の学級生が月1回のペースで活動しています。

活動内容は、学級生一人一人が「自分でやってみたいこと」を目標として設定し、学級生同士の話し合いで決めていきます。そして、ボランティアや中央公民館職員と一緒にバス旅行や映画鑑賞、花壇整

備、バーベキュー、軽スポーツなどを行っています。特に、日常生活での「食事作り」は生きていくうえでも、自立するうえでも大切なため、数多く行われています。

また、公民館まつりに模擬店を出店して、地域の人たちと交流するなど、社会参加に意欲的に取り組んでいます。今回はこうした活動が他の模範と認められ、文部科学大臣表彰を受賞しました。

「障害者の生涯学習支援活動」に係る 文部科学大臣表彰

障がいのある人が地域の一員として豊かな人生を送ることができるよう、多様な学習活動の支援や充実に向けた取り組みを行っている個人や団体に対して贈られる文部科学省所管の表彰です。令和元年度は全国で64件(個人12件、団体52件)が表彰されました。



調理実習に取り組む学級生

表彰式は12月3日、東京都霞が関の文部科学省で行われ、町教育委員会の藤江利久教育長と中央公民館の藤田和良館長が出席。藤田館長は演台から、おうら青年学級の取り組みを紹介しました。



藤田館長のプレゼンテーション

今回の受賞について、文部科学省の担当者は「文部科学省として目指す公民館活動が邑楽町中央公民館にある。おうら青年学級の模範的取り組みを全国に普及すべく、まずは群馬県内などに向けてさまざまな機会に情報発信してほしい」と話しています。

また、金子正一町長は「皆さんが生き生きと活動される姿は、周りのかたがたの励みにもなっていると思います。これからも楽しんでください」と激励しました。